

「2020年度化学工学会インターンシップ」を終えて

公益社団法人化学工学会 人材育成センター高等教育委員会
吉見智之

人材育成センターでは、毎年、大学院の学生を対象にインターンシップ研修希望者を募集し、研修学生の受け入れを希望する企業に研修をお願いしています。本年度は過去最大の33大学院から過去2番目の95名の学生の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応のため、研修学生の受け入れを断念する企業も多く、最終的には受け入れ企業は11社で、研修を実施できた学生は38名となりました。

例年、本会のインターンシップでは、受け入れ登録をして頂いた企業のご協力で、化学工学系の学生向けのテーマやコースを設定、2週間から1ヶ月の比較的長い期間の研修をおこなっています。しかし、今年は受け入れ企業のCOVID-19の対応のため、例年と同様の実地研修ができた学生は16名で、残り22名については遠隔会議システムを利用したオンラインによる、かつ短期間の研修になりました。COVID-19対応で致し方ないところではありますが、当初予定のプログラムを研修できなかった学生の皆様には誠に申し訳ありませんでした。また、学生の受け入れ準備をして頂いた企業の人事や企画関係部署、インターンシップ研修を実施頂いた部署におかれては、急遽のプログラム変更やCOVID-19に対応しながらのインターンシップ研修の実施を図って頂き、誠にありがとうございました。誌面を借りて御礼申し上げます。

さて、例年は本会秋季大会または年会の中でインターン

シップ報告会をおこなっていましたが、今回はCOVID-19対応のため遠隔会議システムによるオンラインでの開催になることもあり、趣向を変えて2021年3月11日(木)～12日(金)に高等教育委員会と資格制度委員会のコラボイベントとして企画しました。『集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会』と題して、本会インターンシップの紹介、本年インターンシップ研修学生数名の体験報告に加え、インターンシップ研修の受け入れにご協力頂いている企業18社からの会社紹介、化学工学会資格制度の紹介をおこないます。参加費は無料でオンラインで開催しますので、全国どこからでも容易に参加できます。主な対象は就職活動やインターンシップ研修を考えている大学・大学院の学生です。是非ご参加ください。また、大学教員のほか、インターンシップ研修の受け入れを考えている企業担当者、学生の就活や企業の採用活動に役立つだけでなく採用後の人材育成(就職後のキャリアデザイン)にも有用な本会資格制度に興味のある企業担当者の皆様も是非ご参加ください。

インターンシップ研修を実施した学生からの一言コメントを掲載します。次年度のインターンシップに役立てて頂ければ幸いです。また、新たに本会のインターンシップに参加頂ける企業を引き続き募集しております。是非ご検討頂き、「インターンシップ」係(e-mail: internship_2021@scej.org)までご一報ください。

氏名	大学名	一言コメント	研修先企業
浦田 結文	早稲田大学	一つのものを製造するのにも化学工学を用いあらゆる検討がなされており、プロセス全体を俯瞰する重要性を感じた。	(株)カネカ
大内 慎也	名古屋大学	インターンシップではなく研究発表会という形でしたが、他大学の方の研究内容を聞くことができたり企業目線からの質問を頂いたりと非常に有意義なものでした。	三菱ケミカル(株)
大島広太郎	東北大学	抽出プロセスに関するシミュレーションをおこなった。企業における研究のアプローチの仕方を学ぶことができた。	花王(株)
小川 夏実	横浜国立大学	企業でどこにどのように化学工学が使われているのか、理解することができ、化学メーカーで働くイメージが湧いた。	東レ(株)
小原 滉平	京都大学	座談会に参加し、実際に技術系社員の話を聞くことで三菱ケミカル(株)を深く知ることができた。	三菱ケミカル(株)
河田 周英	神戸大学	企業の中で研究をおこなうことが自身の研究に対する刺激となり、かつ企業で働くイメージをより鮮明にした。	住友ベークライト(株)



Tomoyuki YOSHIMI (正会員・上席化学工学
技士)
1992年 京都大学大学院工学研究科化学工学
専攻修了、博士(工学)
現在 (株)カネカ生産技術研究所
連絡先: 〒676-8688 兵庫県高砂市宮前町
1-8
E-mail Tomoyuki.Yoshimi@kaneka.co.jp

岸 祐介	広島大学	シミュレーターを用いて概略装置設計をおこない、設計計算を通じてコスト計算や最適化までの流れを学んだ。	東ソー(株)
木村 哲也	福岡大学	私は、インターンシップ先で、最先端の研究に触れたのでとても刺激的でした。この経験を今後も生かします。	東亜合成(株)
佐々木結衣	東北大学	大学での研究とは異なり、製品化をおこなう上での基盤研究や生産プロセスの最適化を重要視していると感じた。	花王(株)
佐藤 秀信	岩手大学	コストを抑えつつ環境に配慮した上で、安全管理を徹底するという、プラントエンジニアとして求められる視点を得た。	千代田化工建設(株)
柴田 史那	岩手大学	インターンシップを通して業界や会社についての理解が深まった。会社の良い雰囲気も感じられ魅力を感じた。	日揮ホールディングス(株)
清水 梨愛	東京農工大学	三菱ケミカル(株)の社員の方々に對して、オンライン研究発表会をおこない、社員の方々から自分の研究に対する質問を頂いた。	三菱ケミカル(株)
助川竜一郎	京都大学	大学で実際に学んだ化学工学の知識を用いて乾燥機の設計をおこない、経済評価までおこないました。	東レ(株)
鈴木 博己	慶應義塾大学	主な内容はビジネスコンテスト、企業説明、社員や役員の方による部門の説明でした。日揮ホールディングス(株)で将来働くイメージが鮮明になりました。	日揮ホールディングス(株)
高尾 涉	鹿児島大学	化学工学者としての働き方や考え方を学び、同じ志を持つ他大学の学生と意見を交わす貴重な機会になった。	(株)カネカ
宅島 紀晶	東京農工大学	オンラインかつ短期間だったが、実際の開発業務に沿った実習と、社員さん一同の親切な対応により充実した4日間だった。	(株)クレハ
竹山 侑志	九州大学	香料基剤の製造技術開発について研究を通して、論理的思考力や企業における化学工学の役割を明確に理解することができました。	花王(株)
田中 泰帆	岡山大学	製造プロセス検討からコスト削減まで一貫したプロセスを考えることで、化学工学の必要性を改めて実感できた。	(株)カネカ
堤 和也	名古屋大学	工場で量産することを前提としながら、より効率的で簡素なプロセスを検討することが重要だと学んだ。	東亜合成(株)
中村 彩乃	東京農工大学	インターンシップを通して、企業で化学工学がどのように活かされているか知ることができた。また、大学と企業の違いについても学んだ。	東レ(株)
七海 亜友	岩手大学	実際におこなわれた仕事内容の疑似体験により、化学工学が化学メーカーで活用されていることが理解できた。	(株)クレハ
西尾 憲悟	鹿児島大学	今回の研修を通じて自身が大学で学んでいる化学工学の知識が企業でどのように役立っているのかを学ぶことができた。JNC(株)様には、このような機会を設けて頂いたことに改めて感謝致します。	JNC(株)
長谷川研志郎	東京農工大学	プロセス開発業務の過程で扱った事象を題材に、化学工学の使用例を学習した。プロセス開発・設計業務についての理解が深まった。	(株)クレハ
藤井 拓海	関西大学	会社説明、職種説明、質疑応答を通して、実際の業務内容や雰囲気、働き方などを学ぶことができた。	三菱ケミカル(株)
前田 直哉	金沢大学	企業で化学工学がどのように活かされているかを知り、今後を考える貴重な経験をとった。	東レ(株)
松井 凌我	東京農工大学	インターンシップを通して、チームで仕事する喜び、業務に対する理解、目指す社会人像の構築を達成しました。	日揮ホールディングス(株)
三上 聖央	東北大学	講義やプロセス設計の業務体験を通して、企業に対する理解を深め、興味を高めることができた。	千代田化工建設(株)
水澤 開	東京農工大学	実際のプラントにおける生産技術者の業務や課題解決の手法を体験することができ、とても貴重な体験でした。	(株)カネカ
向井 健人	九州工業大学	技術系の若手社員の2名とオンラインで合計約1時間30分の座談会をおこない、業界のリーディングカンパニーとして働く技術者としての姿勢を学ぶことができました。	三菱ケミカル(株)
向井 良介	京都工芸繊維大学	企業における化学工学の活用のされ方や問題へのアプローチ、仕事の進め方を理解でき、技術者として働くことについても深掘りできる非常に有意義な体験でした。	三菱ケミカル(株)
迎田 崇史	京都大学	実際に直面する問題に化学工学を駆使して取り組み研究の魅力を再確認できた上に、企業で働くことのイメージや将来のキャリアプランを考えることができ、非常に有意義でした。	花王(株)
山岡 頌平	早稲田大学	三菱ケミカル(株)様の若手社員の方々とオンラインで繋がり、仕事内容や疑問点を聞くことで業務内容の理解を深めることができました。貴重な機会ありがとうございました。	三菱ケミカル(株)
山口 公輔	鹿児島大学	研修では、検討を常にディスカッションして進め、研究室との類似点と相違点を現場で体感することができました。	住友ベークライト(株)
山下竜ノ介	鹿児島大学	私はこの研修で、計画立てて実験を進めることの大切さや、データを人に理解しやすく伝えることの難しさを学びました。	住友ベークライト(株)
横井 建人	早稲田大学	「研究者視点」で実際に製品に触れることで、目的機能の発現に向けた緻密な商品設計や製造プロセスを学ぶことができた。	花王(株)
吉田 啓佑	早稲田大学	ラボスケールからプラント規模へスケールアップする際の検討方法を学び、化学工学とは何かを改めて考える貴重な機会になりました。	(株)クレハ
吉本 彩乃	金沢大学	実際にインターンに参加してみて、化学メーカーで働くということ、そしてその仕事内容をよく理解することができた。化学工学の知識をたくさん使う機会があり、改めて化学工学の重要性を実感した。	(株)カネカ